

2022 年度政治経済学・経済史学会秋季学術大会  
自由論題報告・ポスターセッションおよびパネル・ディスカッション  
募集のお知らせ

政治経済学・経済史学会

会員各位

今年度の秋季学術大会は、10月22日（土）、23日（日）の両日にわたって、法政大学（多摩キャンパス）において開催されます。自由論題報告（22日午前・午後）、ポスターセッション（22日午後にプレゼンテーション）およびパネル・ディスカッション（22日午前・午後および23日午後）を募集しますので、応募用紙に必要事項を記入して5月31日（火）までにメールの添付ファイルで下記学会事務局宛お送り下さい。研究委員会での審査を経て、採否の結果は7月中旬までに連絡いたします。なお現時点では対面を予定しておりますが、情勢の変化に応じてオンライン開催に変更する可能性がありますので、応募に際してはこの点ご注意ください。

〔自由論題報告〕

自由論題の一人当たり持ち時間（報告時間と質疑・討論時間）は50分です。標準的な報告時間は30～40分となります。なお、自由論題はパネル形式にまとめることがあります。その際にご相談させていただきます。ご不明な点は事務局を通じて研究委員会にお問い合わせ下さい。英語による報告も募集しています。詳細はホームページをご覧ください。

〔ポスターセッション〕

発表内容をA0判のポスターに各自で印刷し、会場に常時掲示していただきます。10月22日午後のパネル・ディスカッションでは所定の時間内に内容をご説明いただきます。詳細はホームページをご参照下さい。ポスターのテンプレートは学会ホームページ（<https://seikeishi.com/>）からダウンロードして下さい。

〔パネル・ディスカッション〕

パネル・ディスカッションには約2時間半が当てられます。討論時間を確保できるよう時間配分にも留意して下さい。会員間の個々の専門分野を超えた議論を活発化させるために、各分野の研究史（史学史、あるいは隣接諸科学や国際的な研究動向との関係などを含む）を俯瞰し論点を整理し展望する、論点型のパネルの積極的な応募も歓迎します。英語によるパネルも募集しています。詳細はホームページをご覧ください。

〔応募用紙〕

自由論題報告、ポスターセッション、パネル・ディスカッションともに応募用紙は学会ホームページ（<https://seikeishi.com/>）よりダウンロードしてお使い下さい。

〔報告要旨集の原稿〕

応募用紙に記入された「報告概要」と「パネルの概要」は採否を判断するための材料で、報告要旨集に掲載されるものではありません。採用となった自由論題の報告者とパネル・ディスカッションの代表者には、後日あらためて報告要旨集用の原稿執筆（8月中旬締切予定）を依頼いたします。

〔送付先・問合せ先〕

政治経済学・経済史学会事務局

メールアドレス：seikeishi@gmail.com